

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	大宮営業所～中瓜連～水戸駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・那珂市と連携し、那珂市内沿線学校へのバス利用促進チラシの配布 ・常陸大宮市内のイベントでらぐがきバスを実施し、時刻表チラシ配布 ・常陸大宮市内高校でバスの乗り方教室実施(11月) ・常陸大宮市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・那珂市・常陸大宮市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ○1日当り輸送量 27.3人 ○収支率 45.15% ○収入増 238万円/年 ○輸送人員 8,481人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 26.6人(△0.7人) ○収支率 37.73%(△16.43%) ○収入 2,209万円(+6.20%) ○輸送人員 72,770人(△1.41%) 収入以外は目標を達成できなかった。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。 また、収支率改善のために乗車率の悪いダイヤの減便も検討する。
茨城交通株式会社	浜田営業所～石塚車庫～御前山車庫線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・道の駅かつらと連携し、城里町エリアの観光周遊に関する茨城大学生考案の企画乗車券の販売促進活動を実施 ・城里町と連携し、時刻表の町内全戸配布 ・城里町と連携し城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売実施 ・城里町と連携し、主要バス停への駐輪場の設置 ・常陸大宮市内高校でバスの乗り方教室実施(11月) ・常陸大宮市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・城里町・常陸大宮市と連携し、新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布 ・城里町町民まつりでバスの乗り方教室を開催、時刻表の配布(R6.10)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ○1日当り輸送量 43.4人 ○収支率 63.41% ○収入増 76万円/年 ○輸送人員 2,540人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 40.3人(△3.1人) ○収支率 58.73%(△7.38%) ○収入 4,866万円(+2.22%) ○輸送人員 141,817人(△9.87%) 収入以外は目標を達成できなかった。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	太田営業所～小中車庫～里川入口線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・マイ時刻表・バスマップの継続配布 ・常陸太田市内の特別支援学校でバスの乗り方教室を実施 ・常陸太田市と連携し、路線バスを利用したツアーの開催(11月) ・常陸太田市75歳以上高齢者の運賃半額助成制度の継続実施 ・常陸太田市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・常陸太田市小中高校生に対する通学定期券助成制度継続実施 ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(R7.04) ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤの見直し検討 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・常陸太田市、日立市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 【目標】 ○1日当り輸送量 12.7人 ○収支率 17.10% ○収入増 145万円/年 ○輸送人員 7,240人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 7.0人(△5.7人) ○収支率 9.78%(△42.81%) ○収入 425万円(△43.23%) ○輸送人員 20,596人(△44.63%) すべての項目で目標には届かなかった。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、水郡線との接続を重視した、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～桜ノ牧高校前～水戸医療センター線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・桜の郷地区利用促進バスマップのポスティングを実施、沿線施設への時刻表設置依頼 ・高校野球開催時ノーブルホームスタジアムへのアクセス手段として県内出場校に時刻表を配布 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・茨城町と連携し、新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 53.7人 ○収支率 64.95% ○収入増 40万円/年 ○輸送人員 1,640人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 56.8人(+3.1人) ○収支率 69.60%(+7.16%) ○収入 3,291万円(+26.17%) ○輸送人員 115,611人(+10.50%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名： 茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	茨大前営業所～アクアワールド大洗～那珂湊駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・アクアワールド大洗と連携し、大洗エリアの観光周遊に関する茨城大学生考案の企画乗車券の販売促進活動を実施 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正の実施 ・大洗地区のイベント(あんこうまつり等)時にチラシ配布 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・大洗町・ひたちなか市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R07.03) ・定期券Webサービスの案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 74.8人 ○収支率 75.97% ○収入増 81万円/年 ○輸送人員 2,923人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 79.7人(+4.9人) ○収支率 78.50%(+3.33%) ○収入 6,887万円(+12.55%) ○輸送人員 218,986人(+0.36%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。 また、一部運行経路の見直し(大洗駅乗り入れ)を検討する。
茨城交通株式会社	茨大前営業所～東大野～平磯中学校下線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・那珂湊おさかな市場と連携し、那珂湊エリアの観光周遊に関する企画乗車券作成検討 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正の実施 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・ひたちなか市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R07.03) ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 52.4人 ○収支率 57.55% ○収入増 72万円/年 ○輸送人員 3,126人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 45.3人(△7.1人) ○収支率 61.59%(+7.02%) ○収入 3,887万円(△5.26%) ○輸送人員 147,681人(△16.18%) 収支率以外は目標を達成できなかった。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～旭台団地入口～友部 駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・沿線施設への時刻表設置依 頼 ・利用状況から、利便性、効率 性を考慮したダイヤ改正実施 (R07.4) ・沿線の茨城歯科専門学校に て定期券出張販売の実施 (R07.4) ・バスロケーションシステム周 知活動(HP) ・水戸市・笠間市と連携し新年 度(4月)に向け中学3年生へ定 期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラ シを作成し、各高校・大学へ配 布	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 23.4人 ○収支率 53.65% ○収入増 27万円/年 ○輸送人員 1,281人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 22.4人 (△1.0人) ○収支率 54.43% (+1.45%) ○収入 1,836万円 (+28.52%) ○輸送人員 73,957人 (+11.11%) 輸送量以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。
茨城交通株式会社	赤塚駅南口～桜の牧高校前～ 水戸医療センター線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・桜の郷地区利用促進バスマッ プのポスティングを継続実施、 沿線施設への時刻表設置依頼 ・高校野球開催時ノーブルホー ムスタジアムへのアクセス手段 として県内出場校に時刻表を 配布 ・利用状況から、利便性、効率 性を考慮したダイヤ改正実施 (R07.4) ・バスロケーションシステム周 知活動(HP) ・水戸市・茨城町と連携し新年 度(4月)に向け中学3年生へ定 期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービスの案内チ ラシを作成し、各高校・大学へ 配布	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	C 【目標】 ○1日当り輸送量 22.5人 ○収支率 38.64% ○収入増 98万円/年 ○輸送人員 4,048人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 15.7人 (△6.8人) ○収支率 36.45% (△5.67%) ○収入 516万円 (△0.47%) ○輸送人員 16,492人 (△22.85%) すべての項目で目標には届かなかった。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。 また、乗車率の悪いダイヤにつ いて減便を検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～赤塚駅～イオンモール水戸内原線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・イオンモール水戸内原店舗内への時刻表掲出依頼 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 57.0人 ○収支率 70.70% ○収入増 44万円/年 ○輸送人員 1,977人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 65.7人(+8.7人) ○収支率 71.14%(+0.62%) ○収入 3,885万円(+26.86%) ○輸送人員 156,052人(+13.61%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～石塚車庫～野口車庫線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・道の駅かつらと連携し、城里町エリアの観光周遊に関する茨城大学生考案の企画乗車券の販売促進活動を実施 ・城里町と連携し、時刻表の町内全戸配布 ・城里町と連携し城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売実施 ・城里町と連携し、主要バス停への駐輪場の設置 ・常陸大宮市内高校でバスの乗り方教室実施(11月) ・常陸大宮市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・城里町・常陸大宮市と連携し、新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布 ・城里町町民まつりでバスの乗り方教室を開催、時刻表の配布(R6.10)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 40.2人 ○収支率 78.93% ○収入増 46万円/年 ○輸送人員 1,328人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 42.0人(+1.8人) ○収支率 77.42%(△1.91%) ○収入 4,128万円(+13.67%) ○輸送人員 103,773人(+0.43%) 収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～国田局前～下江戸線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・那珂市と連携し、市内中学生へ時刻表チラシの配布実施 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・那珂市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 16.0人 ○収支率 50.05% ○収入増 32万円/年 ○輸送人員 1,373人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 16.0人(±0.0人) ○収支率 40.85%(△18.38%) ○収入 809万円(+2.38%) ○輸送人員 31,302人(△5.71%) 収支率、輸送人員以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。 また、収支率改善のために乗車率の悪いダイヤの減便も検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～市毛十文字～笠松運動公園前線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・水戸市・ひたちなか市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R07.03) ・企業向け通勤定期券の案内書を送付を実施(R07.02) ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R07.03) ・バスロケーションサービスの周知活動(HP) ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 29.4人 ○収支率 83.29% ○収入増 12万円/年 ○輸送人員 381人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 45.6人(+16.2人) ○収支率 111.49%(+33.86%) ○収入 1,665万円(+66.52%) ○輸送人員 41,120人(+32.39%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	鯉淵営業所～河和田小学校～水戸駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・沿線施設へ時刻表設置の依頼 ・水戸市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布 ・沿線施設の茨城歯科専門学校での定期券出張販売を実施(R7.04) ・バスロケサービスの周知活動(HP) ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 33.9人 ○収支率 71.97% ○収入増 22万円/年 ○輸送人員 1,054人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 38.4人(+4.5人) ○収支率 84.88%(+17.94%) ○収入 2,319万円(+48.43%) ○輸送人員 95,991人(+29.13%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	鯉淵営業所～若林～水戸駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・沿線施設への時刻表設置依頼 ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤ改正実施(R07.4) ・沿線の茨城歯科専門学校にて定期券出張販売の実施(R07.4) ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 17.3人 ○収支率 76.48% ○収入増 10万円/年 ○輸送人員 481人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 16.6人(△0.7人) ○収支率 74.33%(△2.81%) ○収入 985万円(+21.73%) ○輸送人員 38,338人(+5.70%) 輸送量、収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～飯富～石塚車庫線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・城里町と連携し、時刻表の町内全戸配布 ・城里町と連携し城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売実施 ・城里町と連携し、主要バス停への駐輪場の設置 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・水戸市・城里町と連携し、新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラシを作成し、各高校・大学へ配布 ・城里町町民まつりでバスの乗り方教室を開催、時刻表の配布(R6.10)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 37.1人 ○収支率 80.91% ○収入増 31万円/年 ○輸送人員 1,201人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 54.7人(+17.6人) ○収支率 86.29%(+6.65%) ○収入 3,999万円(+59.35%) ○輸送人員 127,481人(+33.82%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	太田営業所～竜神大吊橋～馬次入口線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・マイ時刻表・バスマップの継続配布 ・常陸太田市内の特別支援学校でバスの乗り方教室を実施 ・常陸太田市と連携し、路線バスを利用したツアーの開催(11月) ・常陸太田市75歳以上高齢者の運賃半額助成制度の継続実施 ・常陸太田市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・常陸太田市小中高校生に対する通学定期券助成制度継続実施 ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(R7.04) ・利用状況から、利便性、効率性を考慮したダイヤの見直し検討 ・バスロケーションシステム周知活動(HP) ・常陸太田市、日立市と連携し新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・常陸太田市との連携で、路線バスへ竜神大吊橋へのバスラッピング掲出	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 【目標】 ○1日当り輸送量 5.5人 ○収支率 14.93% ○収入増 61万円/年 ○輸送人員 2,425人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 4.6人(△0.9人) ○収支率 9.12%(△38.91%) ○収入 221万円(△18.26%) ○輸送人員 9,138人(△14.73%) すべての項目で目標を達成できなかった。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、特に観光客向けのバス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名： 茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	馬場八幡前～大橋～大甕駅西 口線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握 するとともに、引き続き利用促進策 を実施。 ・日立市のお出かけ支援事業に協 力し、お得な路線バスカードを販 売 ・常陸太田市と連携し高齢者の運 賃半額制度の継続実施 ・常陸太田市及び日立市と連携し 運転免許証自主返納者に対する バス運賃助成制度の継続実施 ・常陸太田市・日立市の路線バス 通学定期券助成制度活用 ・常陸太田市マイ時刻表・バスマッ プの継続配布 ・バスロケーションシステム周知活 動(HP) ・常陸太田市・日立市と連携し新 年度(4月)に向け中学3年生へ定 期券購入案内文書を配布 ・一部ダイヤ減便(R07.4) ・定期券Webサービス案内チラシを 作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	C 【目標】 ○1日当り輸送量 38.7人 ○収支率 40.43% ○収入増 169万円/年 ○輸送人員 5,648人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 30.6人 (△8.1人) ○収支率 39.29% (△2.82%) ○収入 1,870万円 (△14.78%) ○輸送人員 56,173人 (△22.99%) すべての項目で目標には届かなかった。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。
茨城交通株式会社	馬場八幡前～はたそめ入口 ～真弓ヶ丘～大甕駅西口線の 運行	乗降調査をもとに需要動向を把握 するとともに、引き続き利用促進策 を実施。 ・日立市のお出かけ支援事業に協 力し、お得な路線バスカードを販 売 ・常陸太田市と連携し高齢者の運 賃半額制度の継続実施 ・常陸太田市及び日立市と連携し 運転免許証自主返納者に対する バス運賃助成制度の継続実施 ・常陸太田市・日立市の路線バス 通学定期券助成制度活用 ・常陸太田市マイ時刻表・バスマッ プの継続配布 ・バスロケーションシステム周知活 動(HP) ・常陸太田市・日立市と連携し新 年度(4月)に向け中学3年生へ定 期券購入案内文書を配布 ・一部ダイヤ減便(R07.4) ・定期券Webサービス案内チラシを 作成し、各高校・大学へ配布	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	A 【目標】 ○1日当り輸送量 52.8人 ○収支率 43.94% ○収入増 213万円/年 ○輸送人員 7,740人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 57.5人 (+4.7人) ○収支率 47.12% (+7.24%) ○収入 3,431万円 (+13.75%) ○輸送人員 111,282人 (+1.89%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	日立駅中央口～砂沢～十王駅 前線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・日立市のお出かけ支援事業 に協力し、お得な路線バスカー ドを販売 ・日立市の運転免許証自主返 納者に対するバス運賃助成制 度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定 期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周 知活動(HP) ・日立市と連携し(定期券購入 者増に向けた取り組み)新年度 (4月)に向け中学3年生へ定期 券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラ シを作成し、各高校・大学へ配 布	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 20.2人 ○収支率 64.93% ○収入増 16万円/年 ○輸送人員 815人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 20.8人 (+0.6人) ○収支率 59.83% (△7.85%) ○収入 1,249万円 (+16.48%) ○輸送人員 54,488人 (+5.32%) 収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。
茨城交通株式会社	日立駅中央口～国道6号～ 十王駅前線の運行	乗降調査をもとに需要動向を 把握するとともに、引き続き利 用促進策を実施。 ・日立市のお出かけ支援事業 に協力し、お得な路線バスカー ドを販売 ・日立市の運転免許証自主返 納者に対するバス運賃助成制 度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定 期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周 知活動(HP) ・日立市と連携し(定期券購入 者増に向けた取り組み)新年度 (4月)に向け中学3年生へ定期 券購入案内文書を配布 ・定期券Webサービス案内チラ シを作成し、各高校・大学へ配 布	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 18.5人 ○収支率 53.80% ○収入増 19万円/年 ○輸送人員 888人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 23.2人 (+4.7人) ○収支率 48.81% (△9.28%) ○収入 1,399万円 (+34.74%) ○輸送人員 58,041人 (+24.93%) 収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携 をこれまで以上に密にし、バス 利用案内の呼びかけ、啓発活 動を行う。 自社においても広報宣伝活動 を強化し、利用客の掘り起しを 図る。 アフターコロナによる利用動向 を注視し、効率的な運行ダイヤ の見直しを検討する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関東鉄道㈱	水戸駅・石岡駅	・土日祝日限定の一日乗車券及び水戸漫遊1日フリーきっぷを発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<div>【目標】</div> 経常収支率 74.5%以上 経常収入 22,925千円以上 輸送人員 91,943人以上 平均乗車密度 5.9以上 輸送量 21.2人以上 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。	<div>【実績】</div> 74.4% 24,568千円 62,078人 6.1 21.9人 ・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
関東鉄道㈱	筑波山口・土浦駅	・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。 ・宝篋山ハイキングモデルコースをPRし、観光需要を喚起した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<div>【目標】</div> 経常収支率 47.9%以上 経常収入 30,598千円以上 輸送人員 114,353人以上 平均乗車密度 2.9以上 輸送量 31.3人以上 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。	<div>【実績】</div> 69.2% 44,655千円 113,644人 4.9 49.9人 ・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
関東鉄道㈱	みどりの駅・土浦駅	・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線及びTX線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<div>【目標】</div> 経常収支率 43.3%以上 経常収入 13,621千円以上 輸送人員 75,338人以上 平均乗車密度 2.8以上 輸送量 25.4人以上 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。	<div>【実績】</div> 66.7% 34,092千円 106,138人 5.2 47.3人 ・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
関東鉄道㈱	岩井バスターミナル・守谷駅	・土日祝日限定の一日乗車券及び自然博物館1DAYバスを発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・TX線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<div>【目標】</div> 経常収支率 65.1%以上 経常収入 18,114千円以上 輸送人員 90,955人以上 平均乗車密度 4.8以上 輸送量 26.8人以上 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。	<div>【実績】</div> 102.6% 30,650千円 72,768人 7.7 39.2人 ・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
関東鉄道㈱	藤代駅・自由ヶ丘団地	・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<div>【目標】</div> 経常収支率 42.7%以上 経常収入 3,460千円以上 輸送人員 75,118人以上 平均乗車密度 1.7以上 輸送量 6.9人以上 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。	<div>【実績】</div> 67.9% 4,631千円 17,953人 3.1 11.1人 ・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
関東鉄道㈱	牛久駅・みどりの駅	・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線及びTX線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<div>【目標】</div> 経常収支率 68.3%以上 経常収入 38,510千円以上 輸送人員 280,130人以上 平均乗車密度 4.0以上 輸送量 63.2人以上 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。	<div>【実績】</div> 83.7% 48,133千円 126,459人 4.9 74.4人 ・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名： 茨城県地域交通政策推進協議会
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)																		
関東鉄道㈱	取手駅・谷田部車庫	・土日祝日限定の一日乗車券及びコミュニティバスとの乗継券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <table><thead><tr><th></th><th>【目標】</th><th>【実績】</th></tr></thead><tbody><tr><td>経常収支率</td><td>43.4%以上</td><td>49.2%</td></tr><tr><td>経常収入</td><td>18,333千円以上</td><td>19,961千円</td></tr><tr><td>輸送人員</td><td>87,570人以上</td><td>56,663人</td></tr><tr><td>平均乗車密度</td><td>2.6以上</td><td>3.7</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>15.3人以上</td><td>21.8人</td></tr></tbody></table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	43.4%以上	49.2%	経常収入	18,333千円以上	19,961千円	輸送人員	87,570人以上	56,663人	平均乗車密度	2.6以上	3.7	輸送量	15.3人以上	21.8人	・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	43.4%以上	49.2%																					
経常収入	18,333千円以上	19,961千円																					
輸送人員	87,570人以上	56,663人																					
平均乗車密度	2.6以上	3.7																					
輸送量	15.3人以上	21.8人																					
関東鉄道㈱	荒川沖駅・県立医療大学	・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <table><thead><tr><th></th><th>【目標】</th><th>【実績】</th></tr></thead><tbody><tr><td>経常収支率</td><td>57.6%以上</td><td>100.5%</td></tr><tr><td>経常収入</td><td>10,298千円以上</td><td>16,495千円</td></tr><tr><td>輸送人員</td><td>96,695人以上</td><td>58,116人</td></tr><tr><td>平均乗車密度</td><td>3.3以上</td><td>5.7</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>23.4人以上</td><td>37.0人</td></tr></tbody></table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	57.6%以上	100.5%	経常収入	10,298千円以上	16,495千円	輸送人員	96,695人以上	58,116人	平均乗車密度	3.3以上	5.7	輸送量	23.4人以上	37.0人	・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	57.6%以上	100.5%																					
経常収入	10,298千円以上	16,495千円																					
輸送人員	96,695人以上	58,116人																					
平均乗車密度	3.3以上	5.7																					
輸送量	23.4人以上	37.0人																					
関東鉄道㈱	竜ヶ崎駅・取手駅	・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <table><thead><tr><th></th><th>【目標】</th><th>【実績】</th></tr></thead><tbody><tr><td>経常収支率</td><td>40.5%以上</td><td>51.5%</td></tr><tr><td>経常収入</td><td>11,581千円以上</td><td>12,967千円</td></tr><tr><td>輸送人員</td><td>98,578人以上</td><td>52,988人</td></tr><tr><td>平均乗車密度</td><td>2.1以上</td><td>3.3</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>13.6人以上</td><td>19.4人</td></tr></tbody></table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	40.5%以上	51.5%	経常収入	11,581千円以上	12,967千円	輸送人員	98,578人以上	52,988人	平均乗車密度	2.1以上	3.3	輸送量	13.6人以上	19.4人	・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	40.5%以上	51.5%																					
経常収入	11,581千円以上	12,967千円																					
輸送人員	98,578人以上	52,988人																					
平均乗車密度	2.1以上	3.3																					
輸送量	13.6人以上	19.4人																					
関東鉄道㈱	鹿島神宮駅・銚子駅	・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <table><thead><tr><th></th><th>【目標】</th><th>【実績】</th></tr></thead><tbody><tr><td>経常収支率</td><td>60.5%以上</td><td>49.2%</td></tr><tr><td>経常収入</td><td>47,862千円以上</td><td>46,286千円</td></tr><tr><td>輸送人員</td><td>98,315人以上</td><td>79,058人</td></tr><tr><td>平均乗車密度</td><td>5.4以上</td><td>4.8</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>36.1人以上</td><td>32.1人</td></tr></tbody></table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	60.5%以上	49.2%	経常収入	47,862千円以上	46,286千円	輸送人員	98,315人以上	79,058人	平均乗車密度	5.4以上	4.8	輸送量	36.1人以上	32.1人	・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	60.5%以上	49.2%																					
経常収入	47,862千円以上	46,286千円																					
輸送人員	98,315人以上	79,058人																					
平均乗車密度	5.4以上	4.8																					
輸送量	36.1人以上	32.1人																					
関東鉄道㈱	つくばセンター・水戸駅	・自転車(輪行バック)の無料持ち込みを実施し、サイクリング需要を喚起した。 ・水戸京成百貨店と連携し、貨客混載を実施した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <table><thead><tr><th></th><th>【目標】</th><th>【実績】</th></tr></thead><tbody><tr><td>経常収支率</td><td>67.6%以上</td><td>102.4%</td></tr><tr><td>経常収入</td><td>51,471千円以上</td><td>96,151千円</td></tr><tr><td>輸送人員</td><td>104,161人以上</td><td>81,293人</td></tr><tr><td>平均乗車密度</td><td>12.5以上</td><td>20.3</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>36.1人以上</td><td>107.5人</td></tr></tbody></table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	67.6%以上	102.4%	経常収入	51,471千円以上	96,151千円	輸送人員	104,161人以上	81,293人	平均乗車密度	12.5以上	20.3	輸送量	36.1人以上	107.5人	・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	67.6%以上	102.4%																					
経常収入	51,471千円以上	96,151千円																					
輸送人員	104,161人以上	81,293人																					
平均乗車密度	12.5以上	20.3																					
輸送量	36.1人以上	107.5人																					
関東鉄道㈱	柿岡車庫・石岡駅	・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <table><thead><tr><th></th><th>【目標】</th><th>【実績】</th></tr></thead><tbody><tr><td>経常収支率</td><td>46.9%以上</td><td>52.7%</td></tr><tr><td>経常収入</td><td>23,563千円以上</td><td>24,731千円</td></tr><tr><td>輸送人員</td><td>75,118人以上</td><td>68,027人</td></tr><tr><td>平均乗車密度</td><td>2.4以上</td><td>3.1</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>30.4人以上</td><td>39.9人</td></tr></tbody></table> 運賃改定効果により増収となったが、通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	46.9%以上	52.7%	経常収入	23,563千円以上	24,731千円	輸送人員	75,118人以上	68,027人	平均乗車密度	2.4以上	3.1	輸送量	30.4人以上	39.9人	・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	46.9%以上	52.7%																					
経常収入	23,563千円以上	24,731千円																					
輸送人員	75,118人以上	68,027人																					
平均乗車密度	2.4以上	3.1																					
輸送量	30.4人以上	39.9人																					
関東鉄道㈱	茨城空港・水戸駅	・土日祝日限定の一日乗車券を発売し、利用促進を図った。 ・中学3年生を対象にお試し乗車券を配布し、利用を促進した。 ・常磐線との接続調整を行い、利便性を向上させた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <table><thead><tr><th></th><th>【目標】</th><th>【実績】</th></tr></thead><tbody><tr><td>経常収支率</td><td>52.1%以上</td><td>56.8%</td></tr><tr><td>経常収入</td><td>20,017千円以上</td><td>18,043千円</td></tr><tr><td>輸送人員</td><td>56,225人以上</td><td>39,490人</td></tr><tr><td>平均乗車密度</td><td>3.8以上</td><td>4.4</td></tr><tr><td>輸送量</td><td>14.4人以上</td><td>16.7人</td></tr></tbody></table> 通学利用の減少により輸送人員は減少した。		【目標】	【実績】	経常収支率	52.1%以上	56.8%	経常収入	20,017千円以上	18,043千円	輸送人員	56,225人以上	39,490人	平均乗車密度	3.8以上	4.4	輸送量	14.4人以上	16.7人	・沿線自治体や施設と連携し、効果的な利用促進策を講じる。 ・利用実績データに基づき、適正な運行ダイヤを設定する。
	【目標】	【実績】																					
経常収支率	52.1%以上	56.8%																					
経常収入	20,017千円以上	18,043千円																					
輸送人員	56,225人以上	39,490人																					
平均乗車密度	3.8以上	4.4																					
輸送量	14.4人以上	16.7人																					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者:茨城急行自動車(株)	古河駅東口～牛ヶ谷～八千代町役場の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率63.3%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は5.6%増の68.9%に改善。	車内、沿線学校での時刻表等の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図りたい。
事業者:茨城急行自動車(株)	古河駅東口～牛ヶ谷～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率66.0%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は4.7%減の61.3%で目標を達成できなかった。 人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	車内、沿線学校での時刻表等の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図りたい。
事業者:茨城急行自動車(株)	古河駅東口～丘里工業団地～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率64.7%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は7.4%増の72.1%に改善。	車内、沿線学校での時刻表等の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図りたい。
事業者:茨城急行自動車(株)	野田市駅～下町～岩井車庫の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。 (R6年度収支率81.0%) 【効果達成状況】 前年度より、収支率は8.9%増の89.9%に改善。	車内、沿線学校での時刻表等の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図りたい。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名：茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
朝日自動車(株)	境車庫～釈迦～古河駅西口の 運行	①令和6年9月～10月と令和7 年3月～4月の共通学生フリー バス販売時期に合わせ沿線学 校や、自社ホームページ及び バス車内で周知し、販売促進を 図った。	A 事業が計画に位置付けられ た通り、適切に実施された。	B 輸送人員目標141,003人に 対して実績は111,253人とな り目標未達成となった。 未達成理由として、ダイヤ 改正によるダイヤの見直し・ 運賃改定を実施したもの の、利用増につながらな かった。	・引き続き共通学生フリーバスの販売促進 を図る。 ・スマホ定期券の販売促進を図る。 ・引き続き共通学生フリーバス の販売促進を図る。 ・スマホ定期券の販売促進を図 る。
朝日自動車(株)	五霞町役場前～令和橋～幸手 駅の運行	①桜まつりが開催され、多くの お客様にご乗車いただいた。ま た、桜以外の季節の花を目当 てにしたお客様にご乗車いただ いた。 ②渋滞が発生し、定時運行に 大きな影響が出た。 ③令和6年11月、五霞町のイ ベントに合わせて乗り方教室を 実施した。 ④令和7年2月に橋梁架け替え 工事に伴う迂回運行に合わ せ、利用実態に合わせたダイ ヤ改正を実施した。	A 事業が計画に位置付けられ た通り、適切に実施された。	B 輸送人員目標55,277人に対 して実績は54,061人となり 目標達成には至らなかった。 未達理由として、橋梁架け 替えに伴うルート変更によ り、元ルートの沿線の工場 の従業員の利用が減少した ため。	・桜まつり開催時は渋滞が発生するため、 関係各所と連携しバスの定時性確保を図り 利用増に繋げる。 ・バスの乗り方教室を実施し需要の掘り起 しを図る。 ・茨城県五霞町と協議し、抜本的な運行計 画の見直しを行う。 ・スマホ定期券の販売促進を図る。 ・桜まつり開催時は渋滞が発生 するため、関係各所と連携しバ スの定時性確保を図り利用増 に繋げる。 ・バスの乗り方教室を実施し需 要の掘り起しを図る。 ・茨城県五霞町と協議し、抜本 的な運行計画の見直しを行う。 ・スマホ定期券の販売促進を図 る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名: 茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ジェイアールバス関東株式会社	東古河線 (古河駅～ネーブルパーク～大綱)	自家用車から公共交通への利用転換について利便性・経済性を周知するとともに、自宅で購入可能なスマホ定期券をPRし、定期利用を促進した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標収支率61.28%に対し、実績71.24%となり目標を達成した。	・関係自治体との連携を強化し、イベント等へ積極的に参加することで利用促進を図る。 ・引き続き、バスロケーションシステムの導入を検討し、利便性の向上に努める。
ジェイアールバス関東株式会社	東古河線 (古河駅～古河赤十字病院～古河市役所総和庁舎～健康の駅～古河駅)	自家用車から公共交通への利用転換について利便性・経済性を周知するとともに、自宅で購入可能なスマホ定期券をPRし、定期利用を促進した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標収支率42.8%に対し、実績74.38%となり目標を達成した。	・関係自治体との連携を強化し、イベント等へ積極的に参加することで利用促進を図る。 ・引き続き、バスロケーションシステムの導入を検討し、利便性の向上に努める。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。</p> <p>・乗降調査に基づく需要把握を起点に、利便性・効率性を踏まえたダイヤ改正、自治体・学校と連携した定期券・共通学生フリーパス周知により、利用促進と将来需要の確保に寄与した点を評価する。引き続き関係自治体・関係機関・事業者において連携し生産性向上の取組の実施を期待する。</p> <p>・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。</p>				
第三者評価委員会における各委員からの意見	<p>令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。</p> <p>○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村においてより連携を図っていただくことが重要。</p> <p>○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討していくことを期待する。</p>				